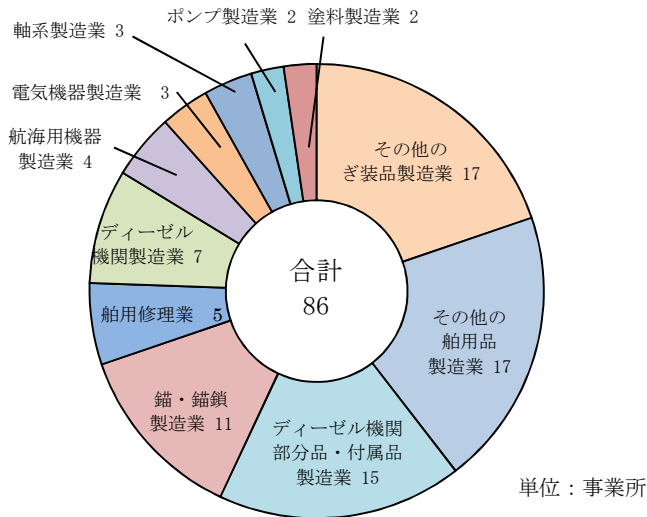


2 船用工業の現況

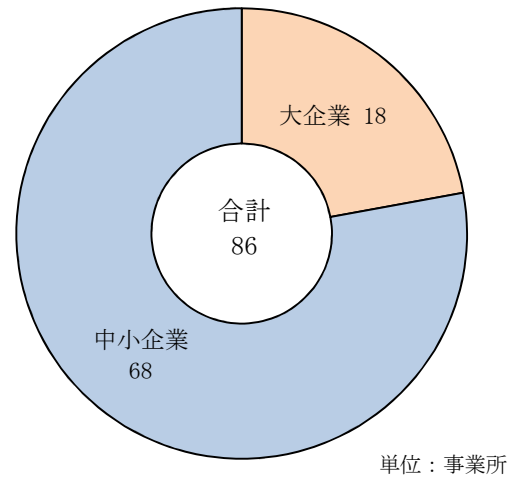
(1) 船用工業事業所数

広範囲にわたる船舶搭載機器の製造等を行う船用工業事業者は、中小企業（資本金3億円以下又は従業員300人以下）が多く、全事業所の約7割を占めている。

第4図 業種別事業所数
(平成27年4月1日現在)



第5図 規模別事業所数
(平成27年4月1日現在)



(2) 船用工業の実績

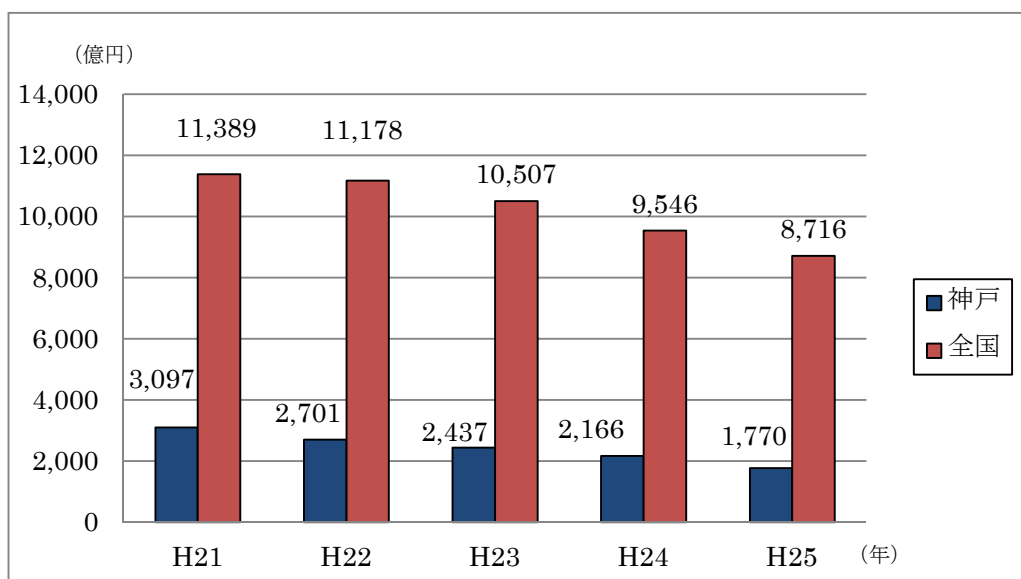
(ア) 生産実績（平成26年の生産額は、9月現在未公表のため、平成25年までのデータ。）

平成25年の船用工業製品の生産額は、全国では8716億円（91.3%）であった。

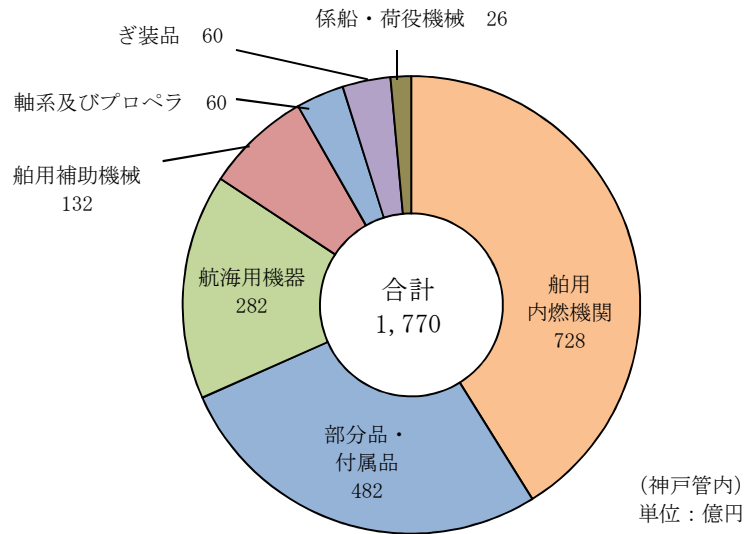
神戸運輸監理部管内では、1,770億円（81.7%）で、全国の約20%を占めている。

平成25年の管内生産の製品別では、船用内燃機関と部分品・付属品の2品目で、総生産額の7割近くとなっている。

第6図 生産実績の推移



第7図 製品別生産実績（平成25年）

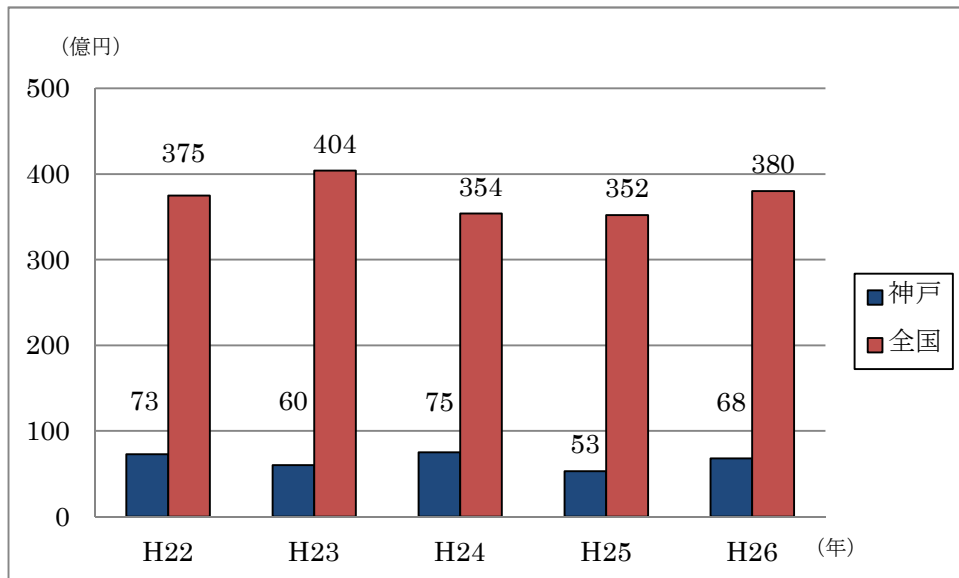


(イ) 修繕実績

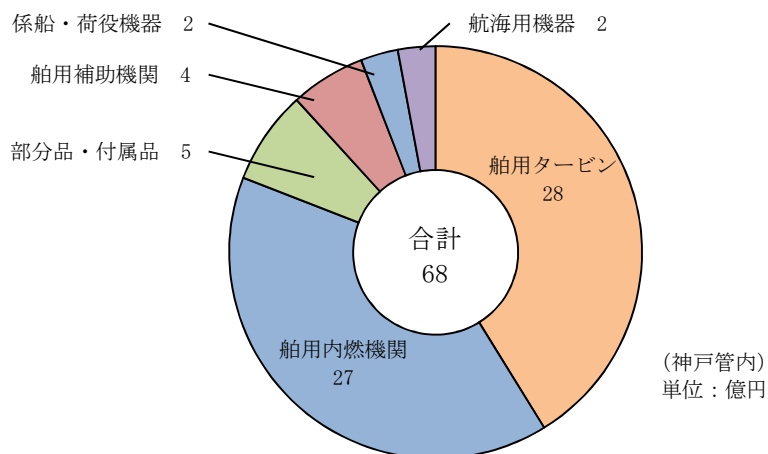
平成26年の船用工業製品の修繕額は、全国では380億円（108.0%）であった。

神戸運輸館監理部管内では、68億円（117.9%）で、全国の約2割を占めている。平成26年の管内修繕の製品別では、船舶内燃機関と部分品の2品で、総修繕額の7割近くとなっている。

第8図 修繕実績の推移



第9図 製品別修繕実績（平成26年）

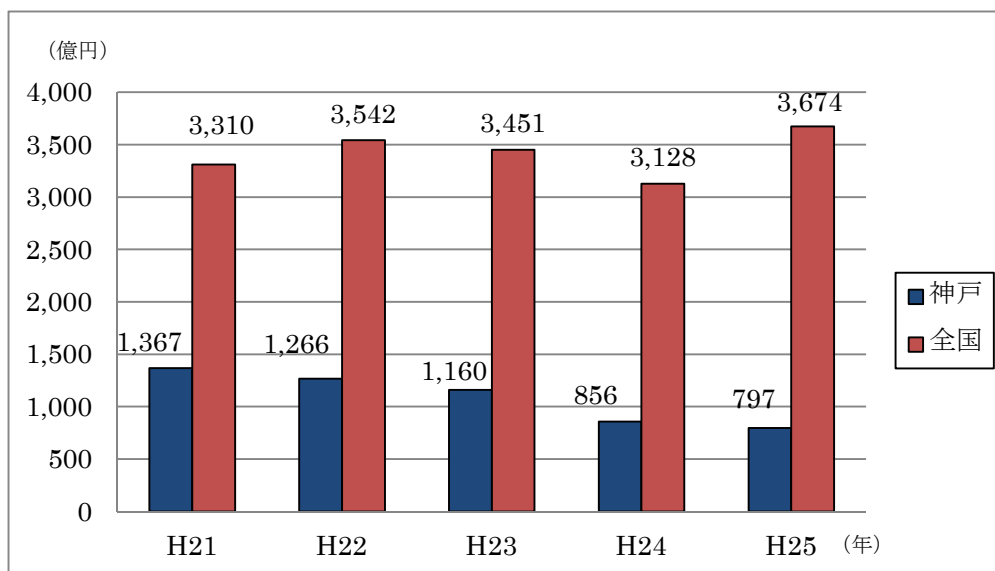


(ウ) 輸出実績（平成26年の輸出額は、9月現在未公表のため、平成25年までのデータ。）

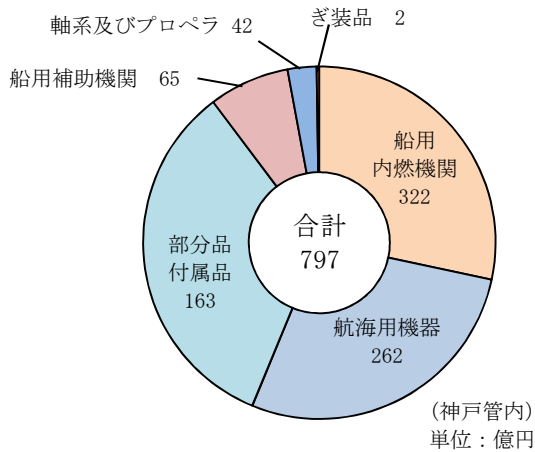
平成25年の船用工業製品の輸出額は、全国では3,674億円（117.5%）であった。

神戸運輸監理部管内では、797億円（93.2%）となり、全国の2割を占めている。管内輸出の製品別では、船用内燃機関と航海用機器の2品目で、総輸出額の約7割を占めている。地域別では、アジアが総輸出額の約6割を占めている。

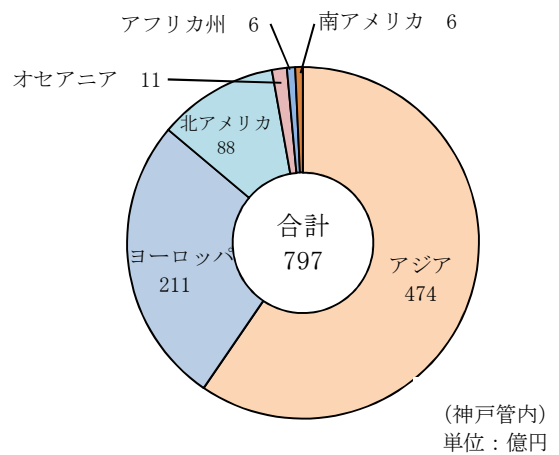
第10図 輸出実績の推移



第11図 製品別輸出実績
(平成25年)



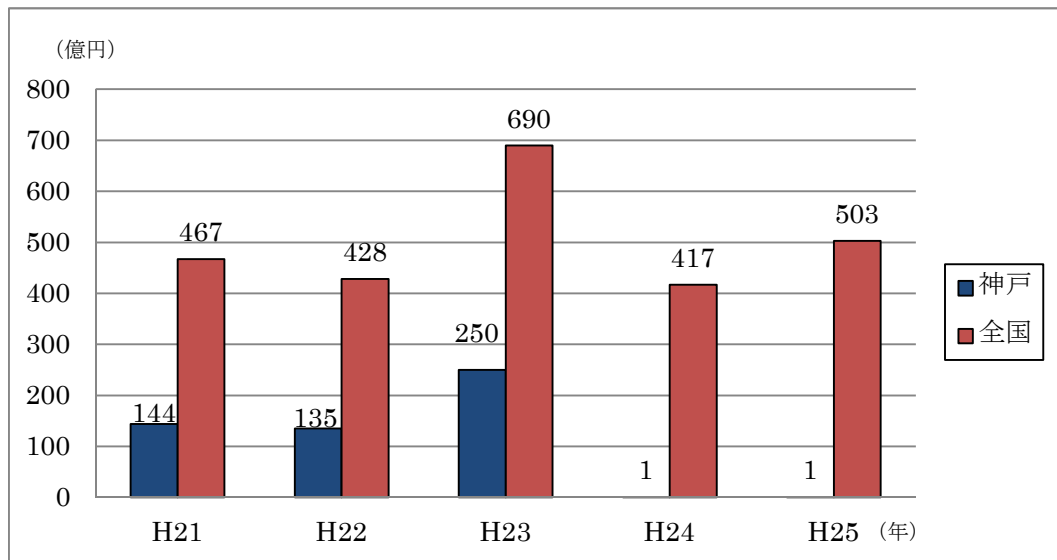
第12図 地域別輸出実績
(平成25年)



(エ) 輸入実績 (平成26年の輸入額は、9月現在未公表のため、平成25年までのデータ。)

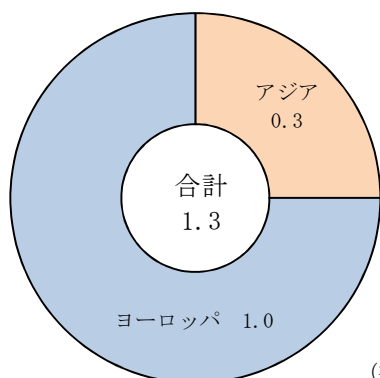
平成25年の船用工業製品の輸入額は、全国では503億円(120.6%)であった。神戸運輸監理部管内では、1.3億円(120.6%)となり、全国の0.2%を占めているが、大手造船所の新造商船の建造撤退に伴い、平成24年以降大幅減となっている。管内輸入の製品別では、ぎ装品の1品目で総輸入の9割を占めている。地域別では、ヨーロッパが総輸入額の約8割を超えている。

第13図 輸入実績の推移



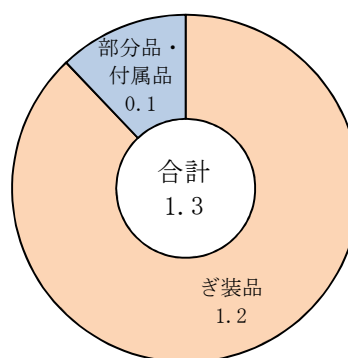
※船舶装備用輸入品入手実績

第14図 製品別輸入実績
(平成25年)



(神戸管内)
単位：億円

第15図 地域別輸入実績
(平成25年)



(神戸管内)
単位：億円